



J R 産 業 に 集 う す べ て の 仲 間 の 労 働 条 件 向 上 を 勝 ち 獲 ろ う !

2 0 2 0 年 3 月 9 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

貨物鉄産労第2回団体交渉

厳しい経営動向が示される

貨物鉄産労は2月26日、2020春季生活闘争の第2回団体交渉を行い、会社から直近の収入・輸送量動向について説明を受けた。

説明では、収入動向について、農産品、青果物、食料工業品が好調に推移した一方、中国経済の減速や消費税増税の影響などで紙・パルプ、化学工業品、化学薬品、家電・情報機器が低調な荷動きとなったことから、1月のコンテナ収入が計画を大きく下回り、車扱収入においても暖冬に伴う石油の減送などで計画を下回ったことで、年度累計でも計画を下回るといった厳しい実態が示された。

説明を受けて貨物鉄産労は、通期業績予想の必達にむけて安全安定輸送の確保に努めていく決意を改めて述べるとともに、厳しい経営状況に理解を示しつつも「『厳しい』の一点張りで物事を進めていくのは無能な経営陣であり、この窮地を打開し、安心して働ける職場づくりに汗をかいていくのが優秀な経営陣」と会社の姿勢を牽制し、「3年連続のベースアップ実施への期待は大きい」として、誠意ある回答を要請した。

貨物鉄産労は、JR貨物グループ全体における雇用の確保・定着にむけて、3年連続のベースアップ実施をはじめとする要求実現に、精力的に取り組むこととしている。